

井上房一郎 - 群馬地域文化の先覚者 - 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやく人々ー西毛編ー」

第3回 平成25年10月10日(木) 「井上房一郎 - 群馬地域文化の先覚者 -」と連動し、本館所蔵の井上房一郎関連資料の一部を展示します。

展示期間：平成25年9月27日(金)～平成25年11月27日(水)

群馬県立図書館 調査相談室

井上房一郎(いのうえ・ふさいちろう)略歴 1898(明治31)～1993(平成5)年 実業家。

高崎の実業家、井上保三郎とこう夫妻の長男として、群馬郡高崎町新町(現、高崎市八島町)に生まれる。高崎市立南尋常小学校(現、高崎市立南小学校)から高崎中学へ進み、1916(大正5)年卒業。早稲田大学を中退し、同好の仲間と音楽、美術を学ぶ。1921(大正10)年、山本鼎の自由画教育運動に共鳴し、市内で自由画展覧会を開催した。1923(大正12)年、山本の勧めでフランスに留学、セザンヌに傾倒した。文化全般の創造者になることを決意し、1929(昭和4)年、帰国。帰国後、父親の興していた井上工業株式会社取締役役に就任するとともに、地場産業をもとに工芸運動を推進し、県輸出工業協会、タspan株式会社などを設立した。1934(昭和9)年、ドイツから逃れ来日中のブルーノ・タウトを井上工芸研究所の顧問として受け入れ、ともに工芸の指導に当たった。1938(昭和13)年、父の保三郎が死去し、その跡を継いで井上工業株式会社の社長に就任。約46年間在任した。戦時中は、県翼賛会壮年団理事長と高崎市翼賛壮年団長を引き受け、音楽挺身隊として慰問活動を行った。終戦の1945(昭和20)年、高崎市民オーケストラの設立に尽力。次いで群馬フィルハーモニーの会長として14年間、群響草創の苦難の時に物心両面から支援した。群馬音楽センター建設の中心となり、県立近代美術館設立では、その原動力として献身的に奔走、戸方庵井上コレクション230点を寄贈した。晩年は、畢生の大事業として、高崎哲学堂設立に全力を傾注、1969(昭和44)年に準備会、ついで財団法人は、1980(昭和55)年に創設。1993(平成5)年、95歳の高齢で世界した。

【図書】(貸出用有に○)

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	備考 ○：貸出用有 掲載頁 「」：項目名 その他
群馬県人名大事典	[上毛新聞社／編]	上毛新聞社	1982	K281.3 卜2Y	○ p.65～66 「井上房一郎」
群馬新百科事典		上毛新聞社	2008	K030 +=83	○ p.66 「井上房一郎」
郷土歴史人物事典群馬	萩原進／著	第一法規	1978	K281.3 78X	○ p.214～215 「井上房一郎」
ぐんまの顔	朝日新聞前橋支局／編	煥平堂	1974	K281.4 A82	○ p.174～177 「芸術のバトロン井上房一郎さん」
経済夜話	高階勇輔／著	上毛新聞社	1996	K281 767	○ p.97～107 「群馬地域文化の先覚者 井上房一郎」
中山道高崎宿史	根岸省三／編	高崎市社会教育振興会	1974	K242 N26	○ p.228～232 「八島町をつくった人々」
翠巒の群像	高崎高校百年史編纂委員会／編	群馬県立高崎高等学校創立百周年記念実行委員会	1998	K376.8 783(2)	○ p.193～204 「地域文化創造の先覚者 井上房一郎」
群馬にみる人・自然・思想 生成と共生の世界	高崎経済大学附属産業研究所／編	日本経済評論社	1995	K361 753	○ p.189～221 「群馬地域文化の先覚者 井上房一郎九五年の歩み」
高崎市教育史 人物編	高崎市教育史編さん委員会／編	高崎市教育委員会	1998	K372.42 Ta522(4)	○ p.47～48 「井上房一郎」
井上房一郎・人と功績	熊倉 浩靖／著	みやま文庫	2011	K289.42 157 717	○
群馬自治研究 Vol. 6	[群馬自治総合研究センター／編]	群馬自治総合研究センター	2008	K318 +=5X(6)	○ p.213～218 「群馬の芸術文化～井上房一郎の功績を中心として～」
バトロンと芸術家 井上房一郎の世界	群馬県立近代美術館／編 高崎市美術館／編	群馬県立近代美術館	1998	K706.9 780	○
井上房一郎／私の美と哲学	井上房一郎／著	あさを社	1985	K289.42 157 卜52	○
はみ出し(ステップ・アウト)の文法 敗者学をめぐって	山口 昌男／著	平凡社	2001	210.6 =13	○ p.164～201 「井上房一郎をめぐって、あるいは「視線の快楽」をこえて」
戸方庵井上コレクション	群馬県立近代美術館／編	群馬県立近代美術館	1974	K706.9 G94.34	○
戸方庵井上コレクション作品目録	群馬県立近代美術館／編	群馬県立近代美術館	1990	K706.9 7700	

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号	○：貸出用有 掲載頁 「」：項目名 その他
戸方庵井上コレクションを 愉しむ 企画展 第32回 ブルーノ・タウトの工芸と絵 画 かまちの海	群馬県立近代美術館／編 群馬県立歴史博物館／編	群馬県立近代美術館 群馬県立歴史博物館	[2003] 1989	K706.9 ㄷ30 K750 ㄮ94	○ ○ p.15～21「私の工芸運動とタウト」
井上保三郎 地域における産業資本家の成立	熊倉浩靖／〔著〕	〔出版者不明〕	〔出版年不明〕	K289.42 Y19 ㄷ15 K289.42 I57.1 000	○
近代群馬の思想群像	高崎経済大学附属産業研究所／編	貝出版企画	1988	K121 ㄮ83	○ p.259～298「井上保三郎-地域における産業資本家の成立-」
井上工業100年小史	〔井上工業／編〕	井上工業	1988	K335.2 ㄮ80	○
愛のシンフォニー 群馬交響楽団の38年 群馬交響楽団50年史	丸山勝広／著 群馬50年史編纂委員会／編	講談社 群馬交響楽団	1983 1997	K760 ㄮ3Y K760 ㄮ73	○ ○
群馬県立近代美術館	群馬県立近代美術館／編	群馬県立近代美術館	1974	K706.9 G94.3	○
高崎白衣観音のしおり アントニン・レーモンドの建築	横田忠一郎／著 三沢 浩／著	あさを社 鹿島出版会	1984 2007	K185.42 ㄮ46 K521 ㄷ79	○ ○

【雑誌】

雑誌名	巻号(通号)	掲載頁	記事タイトル	著者名
上州路	No.16	p.52-55	私の仕事とその背景	井上 房一郎
上州路	No.72	p.30-31	井上房一郎氏にくれさか芸術区構想をきく	井上 房一郎(談)
上州路	No.150	p.30-31	白衣大観音・父、保三郎と私	清水 寥人
上州路	No.232	p.75	悼・井上房一郎翁	
商工たかさき	通巻469号	p.8-13	井上房一郎氏大いに語る児玉会頭新春対談	
上州風	vol.2	p.29-33	井上房一郎、音楽センターへの夢	住谷 昇三
上州風	vol.2	p.32-33	井上房一郎とラ・メゾン	熊倉 浩靖
上州風	vol.11	p.10-53	ありがとう、レーモンド'さん 井上邸から高崎哲学堂まで	
建設人	第29巻第6号	p.1-10	企業特集・井上工業株式会社『信義と技術で奉仕』の創業百周年(井上房一郎追悼文)	
よろこばしき知識 芸術新潮	通算145号 第24巻第1号	p.167-170	考える芸術パトロン-3-巨視的な夢想家・井上房一郎(ルポルタージュ)	

【視聴覚資料】

タイトル	著者名	出版者	出版年	請求記号	備考
井上房一郎 追悼番組	群馬県教育委員会 ／企画	群馬県教育委員会		V28K フ 518102	○ ビデオ 30分
地域文化の先導者 井上房一郎	群馬県教育委員会 ／企画	群馬県教育委員会		V70K フ 516304	○ ビデオ 30分

【インターネット情報資源】

旧・井上邸(高崎市)

http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/art_museum/art/inoue-tei.htm

井上房一郎(高崎新聞)

<http://www.takasakiweb.jp/takasakigaku/jinbutsu/article/22.html>